

倉敷市(岡山県)の一体的実施② 平成25年8月26日事業開始

市水島支所4階に「福祉・ジョブサテライトみずしま」を開設し、市とハローワークによる生活保護受給者等に対する早期就職支援のために一体的に実施

市

福祉サービス、生活相談



国

職業相談、職業紹介

① 事業内容

- ・市とハローワーク倉敷中央の双方の担当で構成される「就労支援チーム」を設置し、綿密な支援が必要な支援対象者ごとに、支援プランを作成する。
- ・担当者制(マンツーマン)により、策定したプランの進捗管理を行い、個々に選定した支援メニュー(職業相談・紹介、カウンセリング、職業訓練メニューの提供・相談等)を実施する。

求職者と面談する就職支援ナビゲーター

② 協定・事業計画

- ・倉敷市長、センター理事長及びハローワーク倉敷中央所長の協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を倉敷市とハローワーク倉敷中央の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・倉敷市、センター及びハローワーク倉敷中央で構成する運営協議会を設置。

倉敷市と国の緊密な相互連携と協働により、生活保護受給者等の支援対象者に対する有効な自立支援と、早期就職支援の実現を図る。

(1) 実施体制

市

- ・ 住居・生活支援相談員2名を配置
- ・ 生活保護就労支援相談員1名を配置

国

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供端末3台、職員紹介端末2台を26年2月配置

(2) 事業目標と取組状況

	29年度事業目標	取組状況(29年9月末時点)
チーム支援 対象者数	◇支援対象者数 200人	◇支援対象者数 124人
	(参考)28年度目標(28年4月～29年3月) ◇支援対象者数 200人	(参考)28年度実績(28年4月～29年3月) ◇支援対象者数 200人
就職件数	◇就職件数 130人	◇就職件数 61人
	(参考)28年度目標(28年4月～29年3月) ◇支援対象者数 120人	(参考)28年度実績(28年4月～29年3月) ◇就職件数 120人
就職率	◇就職率 65.0%	◇就職率 54.5%
	(参考)28年度目標(28年4月～29年3月) ◇就職率 60.0%	(参考)28年度実績(28年4月～29年3月) ◇就職率 60.0%

一体的実施事業による就職成功例

男性：60歳代 希望職種：警備・軽作業
生活保護受給者 「福祉・ジョブサテライトみずしま」において支援対象者として選定

① 抱える課題

自身の自己破産（手続き中）や保護費受給に対する負い目、さらに外国人と結婚した娘の不安定な生活状況への心配等心理的な不調状態が継続し求職活動に対し意欲的な取り組みができていない。

② 支援内容・ポイント・経過

支援開始から暫くは体調の不調等を訴え応募に至らない場面も多かったが、水島社会福祉事務所の就労支援員・ケースワーカーのサポートや、就職支援ナビゲーターによる担当者制による支援を実施する中、“自身が就労に就くことが生活と心の安定につながる”と考えることができるようになり、応募書類の書き方等について自ら質問をする等積極的な姿勢に変わってきた。また、自己破産の手続きが終了したことも求職活動への弾みとなった。

③ 結果

当初フルタイムでの就労を希望し、警備職を中心に応募していたが不調が続いた。そこで、本人の年金収入も加味し、月額5万円の賃金に目標修正し職種についても再検討した。その後求職活動を続ける中で、物流センターの「屋外軽作業」に関心を持ちあっせんに至った。就労が6月から始まったこともあり、体力面で不安を漏らされていたが、今では健康のため通勤も原付から自転車に変え元気に通勤している。また、就労1か月後には収入も確保でき保護廃止となった。

○ ハローワーク担当者の所感

支援開始時には、就労経験も長く（2社で44年間）また原付も所持していたことから早期就職を目標としていたが、就労意欲が低下している状態であったため意欲喚起に期間を要した。福祉事務所との連携により就労による自立の意識が芽生えることで、15社目の応募で就職につなげることができた。